

LM2902-Q1、LM2902B-Q1、LM2902BA-Q1 車載アプリケーション向け、業界標準クワッド・オペアンプ

1 特長

- 車載アプリケーション用に AEC Q-100 認定済み
 - 温度グレード 1: -40°C ~ +125°C
 - デバイス HBM ESD 分類レベル 2
 - デバイス CDM ESD 分類レベル C5
- 広い電源電圧範囲:
 - 3V ~ 36V (LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1)
 - 3V ~ 32V (LM2902KV および LM2902KAV)
 - 3V ~ 26V (その他すべての製品)
- 25°Cでの最大入力オフセット電圧:
 - 2mV (LM2902BA-Q1 および LM2902KAV)
 - 3mV (LM2902B-Q1)
 - 7mV (他のすべての製品)
- RF および EMI フィルタを内蔵 (LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1)
- 1 チャンネルあたり 175µA の消費電流 (標準値)
- ユニティゲイン帯域幅: 1.2MHz
- 同相入力電圧範囲は V- を含む
- 差動入力電圧範囲は最大定格電源電圧と同じ

2 アプリケーション

- 車載用照明
- ボディ・エレクトロニクス
- 車載用ヘッド・ユニット
- テレマティクス制御ユニット
- 緊急通報 (eCall)
- パッシブ・セーフティ: ブレーキ・システム
- 電気自動車、ハイブリッド電気自動車:
 - インバータおよびモータ制御
 - オンボード・チャージャ (OBC) およびワイヤレス・チャージャ
 - バッテリー管理システム (BMS)

3 概要

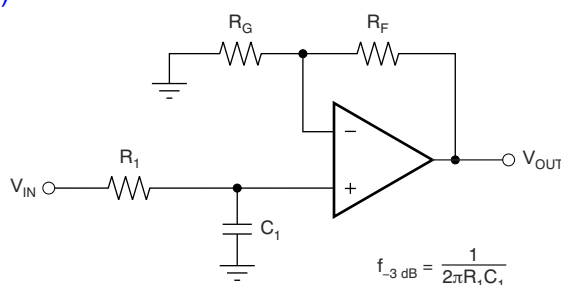
LM2902-Q1、LM2902B-Q1、および LM2902BA-Q1 は、AEC-Q100 仕様に準拠して車載用に認定済みの業界標準のオペアンプです。LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 は LM2902-Q1 の次世代バージョンで、高電圧 (36V) オペアンプを 4 個内蔵しています。LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 には、低いオフセット (それぞれの最大値 3mV、2mV)、グランドまでの同相入力範囲、高い差動入力電圧能力などの機能があり、コストの制約が厳しい用途で大きな価値を提供します。

LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 は、ユニティゲイン安定、0.3mV の低いオフセット電圧 (標準値)、240µA の低い静止電流 (標準値) などの機能が強化されており、回路設計を簡素化できます。高い ESD 耐性 (2kV、HBM) と、内蔵 EMI および RF フィルタにより、LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 は車載市場における最も過酷で厳しい環境の用途にも使用可能です。

製品情報

表 10-10			
部品番号 ⁽¹⁾	チャンネル数	パッケージ	パッケージ サイズ
LM2902B-Q1	クワッド	D (SOIC, 14)	8.65mm × 6mm
		PW (TSSOP, 14)	5mm × 6.4mm
LM2902BA-Q1		D (SOIC, 14)	8.65mm × 6mm
		PW (TSSOP, 14)	5mm × 6.4mm
LM2902-Q1		D (SOIC, 14)	8.65mm × 6mm
		PW (TSSOP, 14)	5mm × 6.4mm

(1) 利用可能なすべてのパッケージについては、データシートの末尾にある注文情報を参照してください。



$$\frac{V_{\text{OUT}}}{V_{\text{IN}}} = \left(1 + \frac{R_F}{R_G}\right) \left(\frac{1}{1 + sR_1 C_1}\right)$$

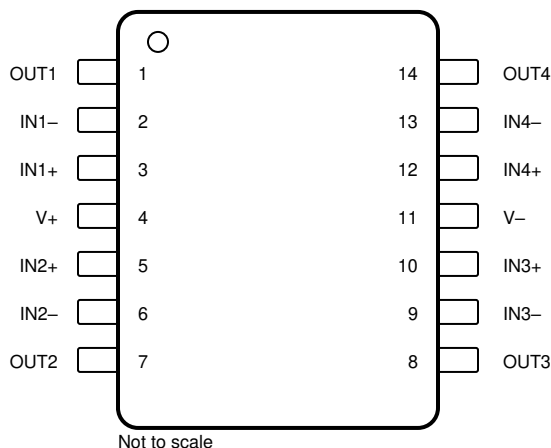
シングル ポールのローパス フィルタ



目次

1 特長.....	1	7.2 機能ブロック図.....	17
2 アプリケーション.....	1	7.3 機能説明.....	17
3 概要.....	1	7.4 デバイスの機能モード.....	18
4 ピン構成および機能.....	3	8 アプリケーションと実装.....	19
5 仕様.....	4	8.1 アプリケーション情報.....	19
5.1 絶対最大定格.....	4	8.2 代表的なアプリケーション.....	19
5.2 ESD 定格.....	4	8.3 電源に関する推奨事項.....	20
5.3 推奨動作条件.....	4	8.4 レイアウト.....	20
5.4 熱に関する情報.....	5	9 デバイスおよびドキュメントのサポート.....	22
5.5 電気的特性 - LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1.....	6	9.1 ドキュメントのサポート.....	22
5.6 電気的特性: LM2902-Q1、LM2902KV-Q1、 LM2902KAV-Q1.....	8	9.2 ドキュメントの更新通知を受け取る方法.....	22
5.7 動作条件: LM2902-Q1、LM2902KV-Q1、 LM2902KAV-Q1.....	9	9.3 サポート・リソース.....	22
5.8 代表的特性.....	10	9.4 商標.....	22
6 パラメータ測定情報.....	16	9.5 静電気放電に関する注意事項.....	22
7 詳細説明.....	17	9.6 用語集.....	22
7.1 概要.....	17	10 改訂履歴.....	22
		11 メカニカル、パッケージ、および注文情報.....	23

4 ピン構成および機能



**図 4-1. D および PW パッケージ
14 ピン SOIC、TSSOP
(上面図)**

表 4-1. ピンの機能

ピン		I/O	説明
名称	番号		
IN1–	2	I	反転入力、チャンネル 1
IN1+	3	I	非反転入力、チャンネル 1
IN2–	6	I	反転入力、チャンネル 2
IN2+	5	I	非反転入力、チャンネル 2
IN3–	9	I	反転入力、チャンネル 3
IN3+	10	I	非反転入力、チャンネル 3
IN4–	13	I	反転入力、チャンネル 4
IN4+	12	I	非反転入力、チャンネル 4
NC	—	—	内部接続なし
OUT1	1	O	出力、チャンネル 1
OUT2	7	O	出力、チャンネル 2
OUT3	8	O	出力、チャンネル 3
OUT4	14	O	出力、チャンネル 4
V–	11	—	負 (最低) 電源またはグランド (単一電源動作の場合)
V+	4	—	正 (最高) 電源

5 仕様

5.1 絶対最大定格

$T_A = 25^{\circ}\text{C}$ (特に記述のない限り)⁽¹⁾

	LM2902B-Q1、 LM2902BA-Q1	LM2902-Q1	LM2902KV-Q1	単位
電源電圧、 V_{CC} ⁽²⁾	40	26	32	V
差動入力電圧、 V_{ID} ⁽³⁾	± 40	± 26	± 32	V
入力電圧、 V_I	-0.3~40	-0.3~26	-0.3~32	V
グラウンド (またはそれ以下) への出力短絡時間 (1 個のアンプ) $T_A = 25^{\circ}\text{C}$ 、 $V_{CC} \leq 15$ ⁽⁴⁾	制限なし	制限なし	制限なし	
動作仮想接合部温度、 T_J	150	142	142	$^{\circ}\text{C}$
保管温度範囲、 T_{stg}	-65~150	-65~150	-65~150	$^{\circ}\text{C}$

- (1) 絶対最大定格を上回るストレスが加わった場合、デバイスに永続的な損傷が発生する可能性があります。これはストレスの定格のみについての話で、絶対最大定格において、またはこのデータシートの「推奨動作条件」に示された値を超える他のいかなる条件でも、本製品が正しく動作することを暗に示すものではありません。絶対最大定格の状態が長時間続くと、デバイスの信頼性に影響を与える可能性があります。
- (2) すべての電圧値は、回路のグラウンド端子 **GND** を基準としたものです。
- (3) 差動電圧は、**IN-** を基準とする **IN+** です。
- (4) 出力から V_{CC} への短絡が発生すると、過熱や最終的な破壊につながる可能性があります。

5.2 ESD 定格

		値	単位
LM2902B-Q1、LM2902BA-Q1			
V _(ESD) 静電放電	人体モデル (HBM)、AEC Q100-002 準拠 ⁽¹⁾	±2000	V
	デバイス帯電モデル (CDM)、AEC Q100-011 準拠	±1500	
LM2902KV-Q1、LM2902KAV-Q1			
V _(ESD) 静電放電	人体モデル (HBM)、AEC Q100-002 準拠 ⁽¹⁾	±2000	V
	デバイス帯電モデル (CDM)、AEC Q100-011 準拠	±2000	
LM2902-Q1			
V _(ESD) 静電放電	デバイス帯電モデル (CDM)、AEC Q100-011 準拠	±1500	V

- (1) AEC Q100-002 は、HBM ストレス試験を ANSI / ESDA / JEDEC JS-001 仕様に従って実施しなければならないと規定しています。

5.3 推奨動作条件

動作時周囲温度範囲内 (特に記述のない限り)

		最小値	最大値	単位
V_S 電源電圧、 $V_S = ([V+] - [V-])$	LM2902B-Q1, LM2902BA-Q1	3	36	V
	LM2902KV-Q1, LM2902KAV-Q1	3	30	
	LM2902-Q1	3	26	
V_{CM} 同相電圧		V_-	$(V_+) - 2$	V
T_A 動作時周囲温度		-40	125	$^{\circ}\text{C}$

5.4 熱に関する情報

熱評価基準 ⁽¹⁾	LM2902-Q1、LM2902KV-Q1、 LM2902KAV-Q1		LM2902B-Q1、LM2902BA-Q1		単位
	D (SOIC)	PW (TSSOP)	D (SOIC)	PW (TSSOP)	
	14 ピン	14 ピン	14 ピン	14 ピン	
$R_{\theta JA}$ 接合部から周囲への熱抵抗	101	86	99.3	133.3	°C/W
$R_{\theta JC}$ 接合部からケース (上面) への熱抵抗	—	—	60.4	63.4	°C/W
$R_{\theta JB}$ 接合部から基板への熱抵抗	—	—	57.5	76.5	°C/W
Ψ_{JT} 接合部から上面への特性パラメータ	—	—	19.8	15.6	°C/W
Ψ_{JB} 接合部から基板への特性パラメータ	—	—	57.0	75.9	°C/W

(1) 従来および最新の熱評価基準の詳細については、『[半導体および IC パッケージの熱評価基準](#)』アプリケーション ノートを参照してください。

5.5 電気的特性 - LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1

$V_S = (V+) - (V-) = 5V \sim 36V$ ($\pm 2.5V \sim \pm 18V$) の場合、 $T_A = 25^\circ C$ 時、 $V_{CM} = V_{OUT} = V_S/2$ 、 $R_L = 10k$ 、 $V_S/2$ に接続 (特に記述のない限り)

パラメータ		テスト条件		最小値	標準値	最大値	単位	
オフセット電圧								
V _{OS}	入力オフセット電圧	LM2902B-Q1			±0.3	±3.0	mV	
				T _A = −40°C〜125°C		±4.0		
		LM2902BA-Q1			±0.3	±2		
				T _A = −40°C〜125°C		±2.5		
dV _{OS} /dT	入力オフセット電圧ドリフト	R _S = 0Ω		T _A = −40°C〜125°C	±7		μV/°C	
PSRR	入力オフセット電圧と電源との関係				65	100	dB	
	チャネル セパレーション	f = 1kHz〜20kHz				120	dB	
入力電圧範囲								
V _{CM}	同相電圧範囲	V _S = 3V〜36V			V-	(V+) − 1.5	V	
		V _S = 5V〜36V		T _A = −40°C〜125°C	V-	(V+) − 2		
CMRR	同相除去比	(V-) ≤ V _{CM} ≤ (V+) - 1.5V	V _S = 3V〜36V		70	80	dB	
		(V-) ≤ V _{CM} ≤ (V+) - 2V	V _S = 5V〜36V	T _A = −40°C〜125°C	65	80		
入力バイアス電流								
I _B	入力バイアス電流					-10	-35	nA
				T _A = −40°C〜125°C		-50		
dI _{OS} /dT	入力オフセット電流ドリフト				T _A = −40°C〜125°C	10		pA/°C
I _{OS}	入力オフセット電流					±0.5	±4	nA
				T _A = −40°C〜125°C		±5		
dI _{OS} /dT	入力オフセット電流ドリフト				T _A = −40°C〜125°C	10		pA/°C
ノイズ								
E _N	入力電圧ノイズ	f = 0.1Hz〜10Hz				3		μV _{PP}
e _N	入力電圧ノイズ密度	R _S = 100Ω、V _I = 0V、f = 1kHz (ノイズテスト回路を参照)					35	nV/√Hz
入力インピーダンス								
Z _{ID}	差動					10 0.1		MΩ pF
Z _{ICM}	同相					4 1.5		GΩ pF
開ループゲイン								
A _{OL}	開ループ電圧ゲイン	V _S = 15V、V _O = 1V〜11V、R _L ≥ 10kΩ、(V-) に接続			50	100	V/mV	
				T _A = −40°C〜125°C	25			
周波数応答								
GBW	ゲイン帯域幅積	R _L = 1MΩ、C _L = 20pF (ユニティゲインアンプを参照)				1.2		MHz
SR	スルーレート	R _L = 1MΩ、C _L = 30pF、V _I = ±10V (ユニティゲインアンプを参照)				0.5		V/μs
θ _m	位相マージン	G = +1、R _L = 10kΩ、C _L = 20pF				56		°
t _S	セトリング時間	0.1% まで、V _S = 5V、2V ステップ、G = +1、C _L = 100pF				4		μs
	過負荷回復時間	V _{IN} × ゲイン > V _S				10		μs
THD+N	全高調波歪み + ノイズ	G = +1、f = 1kHz、V _O = 3.53V _{RMS} 、V _S = 36V、R _L = 100k、I _{OUT} ≤ ±50μA、BW = 80kHz				0.001%		
出力								
V _O	電圧出力スイング (レールから)	正電圧レール (V+)		I _{OUT} = −50μA	1.35	1.5	V	
V _O				I _{OUT} = −1mA	1.4	1.6	V	
V _O				I _{OUT} = −5mA	1.5	1.75	V	
V _O		負電圧レール (V-)		I _{OUT} = 50μA	100	150	mV	
V _O				I _{OUT} = 1mA	0.75	1	V	
V _O				V _S = 5V、R _L ≤ 10kΩ を (V-) に接続	T _A = −40°C〜125°C	5	20	mV
I _O	出力電流	V _S = 15V、V _O = V-、V _{ID} = 1V	ソース		−20 ⁽¹⁾	−30	mA	
				T _A = −40°C〜125°C	−10 ⁽¹⁾		mA	
		V _S = 15V、V _O = V+、V _{ID} = −1V	シンク		10 ⁽¹⁾	20	mA	
				T _A = −40°C〜125°C	5 ⁽¹⁾		mA	
		V _{ID} = −1V、V _O = (V-) + 200mV				50	85	μA

5.5 電気的特性 - LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 (続き)

$V_S = (V_+) - (V_-) = 5V \sim 36V$ ($\pm 2.5V \sim \pm 18V$) の場合、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 時、 $V_{CM} = V_{OUT} = V_S/2$ 、 $R_L = 10k$ 、 $V_S/2$ に接続 (特に記述のない限り)

パラメータ		テスト条件		最小値	標準値	最大値	単位
I _{SC}	短絡電流	V _S = 20V、(V ₊) = 10V、(V ₋) = -10V、V _O = 0V			±40	±60	mA
C _{LOAD}	容量性負荷駆動能力				100		pF
R _O	オープン ループ出力インピーダンス	f = 1MHz、I _O = 0A			300		Ω
電源							
I _Q	アンプごとの静止電流	V _S = 5V、I _O = 0A	T _A = -40℃～125℃		175	300	μA
		V _S = 36V、I _O = 0A	T _A = -40℃～125℃		350	750	μA

(1) 設計と特性評価による規定のみ。

5.6 電気的特性 : LM2902-Q1、LM2902KV-Q1、LM2902KAV-Q1

$T_A = 25^\circ\text{C}$ で $V_S = (V_+) - (V_-) = 5\text{V}$ の場合 (特に記述のない限り)

パラメータ	テスト条件	$T_A^{(1)}$	最小値	標準値 ⁽²⁾	最大値	単位
V_{IO} 入力オフセット電圧	$V_{CC} = 5\text{V} \sim 26\text{V}$, $V_{IC} = V_{ICRmin}$, $V_O = 1.4\text{V}$	25°C		3	7	mV
		フルレンジ			10	
I_{IO} 入力オフセット電流	$V_O = 1.4\text{V}$	25°C		2	50	nA
		フルレンジ			300	
I_{IB} 入力バイアス電流	$V_O = 1.4\text{V}$	25°C		-20	-250	nA
		フルレンジ			-500	
V_{ICR} 同相入力電圧範囲	$V_{CC} = 5\text{V} \sim 26\text{V}$	25°C	V-		$(V_+) - 1.5$	V
		フルレンジ	V-		$(V_+) - 2$	
V_{OH} High レベル出力電圧	$R_L = 10\text{k}\Omega$	25°C	$(V_+) - 1.5$			V
	$V_{CC} = 26\text{V}$, $R_L = 2\text{k}\Omega$	フルレンジ	22			
	$V_{CC} = 26\text{V}$, $R_L \geq 10\text{k}\Omega$	フルレンジ	23	24		
V_{OL} Low レベル出力電圧	$R_L \leq 10\text{k}\Omega$	フルレンジ		5	20	mV
A_{VD} 大信号差動電圧増幅	$V_{CC} = 15\text{V}$, $V_O = 1\text{V} \sim 11\text{V}$, $R_L \geq 2\text{k}\Omega$	25°C			100	V/mV
		フルレンジ		15		
CMRR 同相除去比	$V_{IC} = V_{ICRmin}$	25°C	50	80		dB
k_{SVR} 電源除去比 ($\Delta V_{CC}/\Delta V_{IO}$)		25°C	50	100		dB
V_{O1}/V_{O2} クロストーク減衰	$f = 1\text{kHz} \sim 20\text{kHz}$	25°C		120		dB
I_O 出力電流	$V_{CC} = 15\text{V}$, $V_O = 0$ $V_{ID} = 1\text{V}$,	25°C	-20	-30	-60	mA
		フルレンジ	-10			
	$V_{CC} = 15\text{V}$, $V_O = 15\text{V}$ $V_{ID} = -1\text{V}$,	25°C	10	20		
		フルレンジ	5			
	$V_{ID} = -1\text{V}$ $V_O = 200\text{mV}$	25°C		30		μA
I_{OS} 短絡出力電流	5V での V_{CC} , -5V での GND $V_O = 0$	25°C		± 40	± 60	mA
I_{CC} 消費電流 (4 つのアンプ)	$V_O = 2.5\text{V}$ 無負荷	フルレンジ		0.7	1.2	mA
	$V_{CC} = 26\text{V}$, $V_O = 0.5V_{CC}$ 無負荷	フルレンジ		1.4	3	
V_{IO} 入力オフセット電圧	$V_{CC} = 5\text{V} \sim 32\text{V}$, $V_{IC} = V_{ICRmin}$ $V_O = 1.4\text{V}$	25°C		3	7	mV
		フルレンジ			10	
	非 A デバイス A サフィックス デバイス	25°C		1	2	
		フルレンジ			4	
$\Delta V_{IO}/\Delta T$ 温度ドリフト	$R_S = 0\Omega$	フルレンジ		7		$\mu\text{V}/^\circ\text{C}$
I_{IO} 入力オフセット電流	$V_O = 1.4\text{V}$	25°C		2	50	nA
		フルレンジ			150	
$\Delta I_{IO}/\Delta T$ 温度ドリフト		フルレンジ		10		$\text{pA}/^\circ\text{C}$
I_{IB} 入力バイアス電流	$V_O = 1.4\text{V}$	25°C		-20	-250	nA
		フルレンジ			-500	
V_{ICR} 同相入力電圧範囲	$V_{CC} = 5\text{V} \sim 32\text{V}$	25°C	$0 \sim V_{CC} - 1.5$			V
		フルレンジ	$0 \sim V_{CC} - 2$			
V_{OH} High レベル出力電圧	$R_L = 10\text{k}\Omega$	25°C	$V_{CC} - 1.5$			V
	$V_{CC} = 32\text{V}$, $R_L = 2\text{k}\Omega$	フルレンジ	26			
	$V_{CC} = 32\text{V}$, $R_L \geq 10\text{k}\Omega$	フルレンジ	27			

5.6 電気的特性 : LM2902-Q1、LM2902KV-Q1、LM2902KAV-Q1 (続き)

$T_A = 25^\circ\text{C}$ で $V_S = (V_+) - (V_-) = 5\text{V}$ の場合 (特に記述のない限り)

パラメータ	テスト条件	$T_A^{(1)}$	最小値	標準値 ⁽²⁾	最大値	単位
V_{OL} Low レベル出力電圧	$R_L \leq 10\text{k}\Omega$	フルレンジ		5	20	mV
A_{VD} 大信号差動電圧増幅	$V_{CC} = 15\text{V}$, $V_O = 1\text{V} \sim 11\text{V}$, $R_L \geq 2\text{k}\Omega$	25°C	25	100		V/mV
		フルレンジ	15			
アンプ間のカップリング ⁽³⁾	$f = 1\text{kHz} \sim 20\text{kHz}$ 入力換算	25°C		120		dB
CMRR 同相除去比	$V_{IC} = V_{ICRmin}$	25°C	60	80		dB
k_{SVR} 電源除去比 ($\Delta V_{CC}/\Delta V_{IO}$)		25°C	60	100		dB
V_{O1}/V_{O2} クロストーク減衰	$f = 1\text{kHz} \sim 20\text{kHz}$	25°C		120		dB
I_O 出力電流	$V_{CC} = 15\text{V}$, $V_O = 0$ $V_{ID} = 1\text{V}$	25°C	-20	-30	-60	mA
		フルレンジ	-10			
	$V_{CC} = 15\text{V}$, $V_O = 15\text{V}$ $V_{ID} = -1\text{V}$	25°C	10	20		mA
		フルレンジ	5			
	$V_{ID} = -1\text{V}$ $V_O = 200\text{mV}$	25°C	12	40		μA
I_{OS} 短絡出力電流	5V での V_{CC} 、 -5V での GND $V_O = 0$	25°C		± 40	± 60	mA
I_{CC} 消費電流 (4 つのアンプ)	$V_O = 2.5\text{V}$ 無負荷	フルレンジ		0.7	1.2	mA
	$V_{CC} = 32\text{V}$ 、 $V_O = 0.5V_{CC}$ 無負荷	フルレンジ		1.4	3	

(1) フルレンジは $-40^\circ\text{C} \sim 125^\circ\text{C}$ です。

(2) すべての標準値は $T_A = 25^\circ\text{C}$ での値です。

(3) 外付け部品が近接しているため、これらの外付け部品間の浮遊容量によってカップリングが発生していないことを確認してください。一般に、このタイプのカップリングは高い周波数で増加するため、検出可能です。

5.7 動作条件 : LM2902-Q1、LM2902KV-Q1、LM2902KAV-Q1

$T_A = 25^\circ\text{C}$ で $V_S = (V_+) - (V_-) = 15\text{V}$ の場合

パラメータ	テスト条件	標準値	単位
SR ユニティ ゲインでのスルーレート	$R_L = 1\text{M}\Omega$, $C_L = 30\text{pF}$, $V_I = \pm 10\text{V}$ (図 6-1 を参照)	0.5	V/ μs
B_1 ユニティ ゲイン帯域幅	$R_L = 1\text{M}\Omega$, $C_L = 20\text{pF}$ (図 6-1 を参照)	1.2	MHz
V_N 等価入力ノイズ電圧	$R_S = 100\Omega$, $V_I = 0\text{V}$, $f = 1\text{kHz}$ (図 6-2 を参照)	35	nV/ $\sqrt{\text{Hz}}$

5.8 代表的特性

この「代表的な特性」セクションは、LM2902B-Q1 と LM2902BA-Q1 に適用されます。このセクションの代表的特性データは、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 、 $V_S = 36\text{V} (\pm 18\text{V})$ 、 $V_{CM} = V_S/2$ 、 $R_{LOAD} = 10\text{k}\Omega$ を $V_S/2$ に接続した状態で測定されました (特に記述のない限り)。

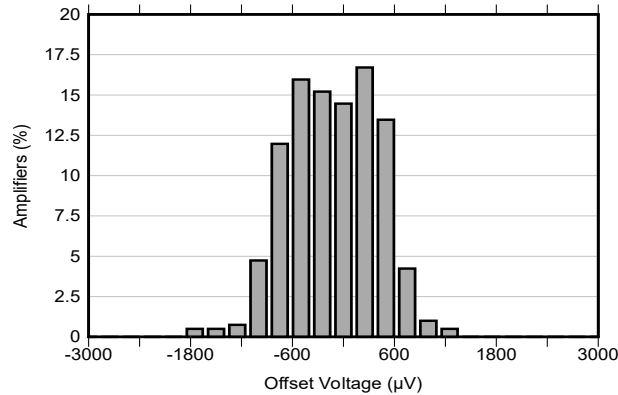


図 5-1. オフセット電圧の生産分布

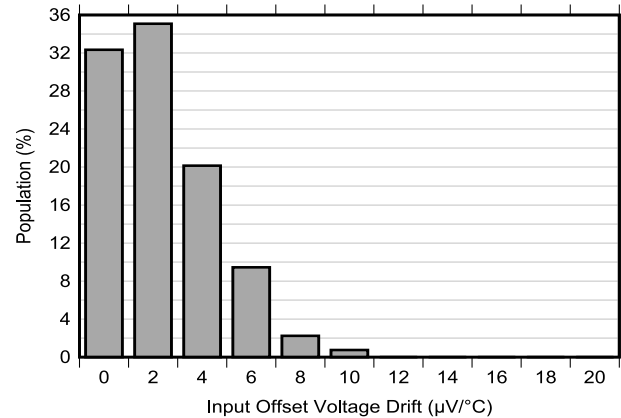


図 5-2. オフセット電圧ドリフトの分布

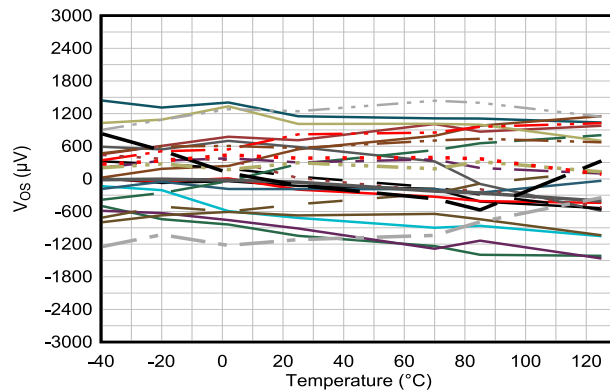


図 5-3. オフセット電圧と温度との関係

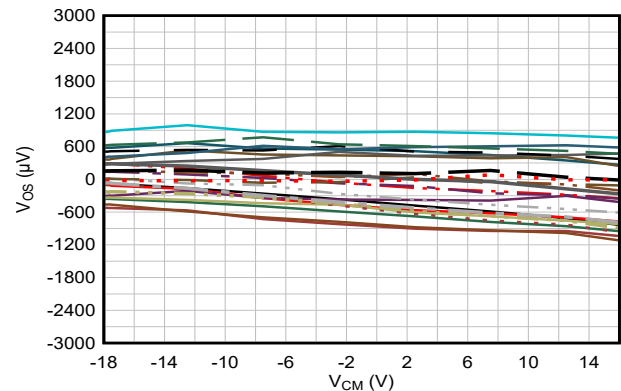


図 5-4. オフセット電圧と同相電圧との関係

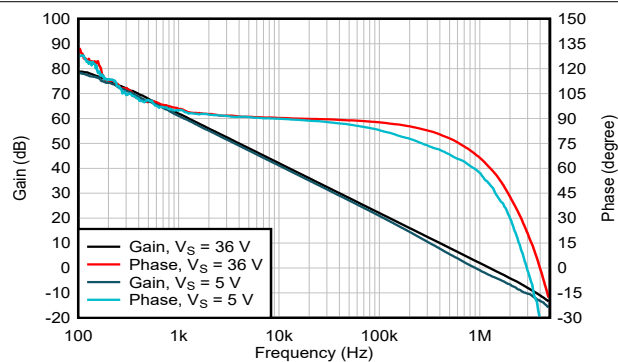


図 5-5. 開ループゲインおよび位相と周波数との関係

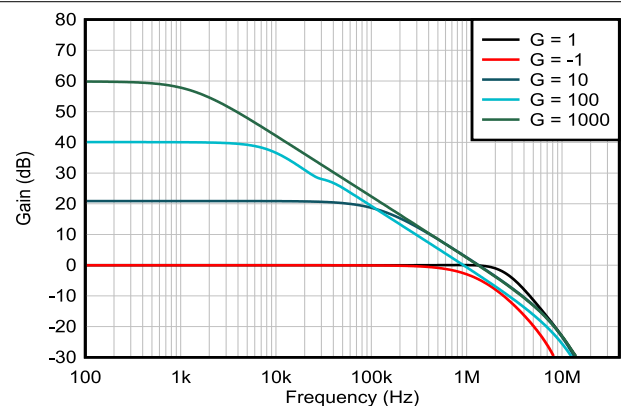


図 5-6. 閉ループゲインと周波数との関係

5.8 代表的特性 (続き)

この「代表的な特性」セクションは、LM2902B-Q1 と LM2902BA-Q1 に適用されます。このセクションの代表的特性データは、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 、 $V_S = 36\text{V}$ ($\pm 18\text{V}$)、 $V_{CM} = V_S/2$ 、 $R_{LOAD} = 10\text{k}\Omega$ を $V_S/2$ に接続した状態で測定されました (特に記述のない限り)。

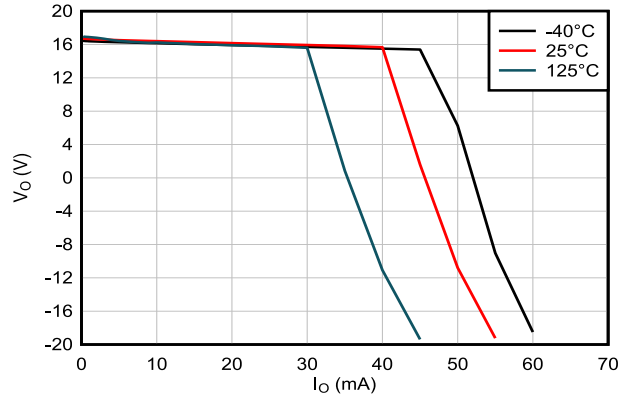


図 5-7. 出力電圧スイングと出力電流との関係 (ソース)

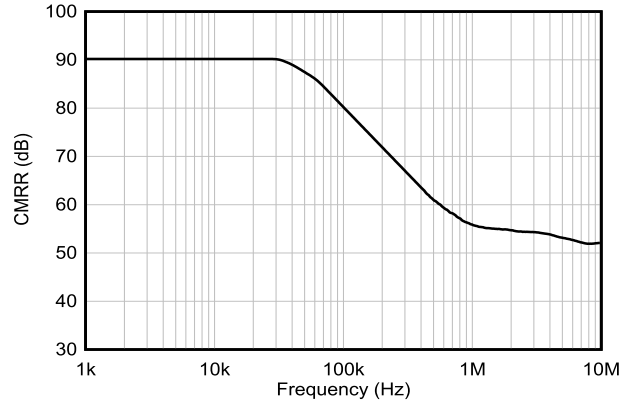


図 5-8. CMRR と周波数との関係

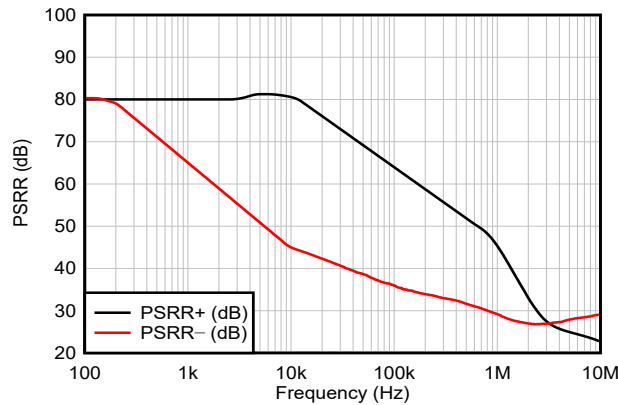


図 5-9. PSRR と周波数との関係

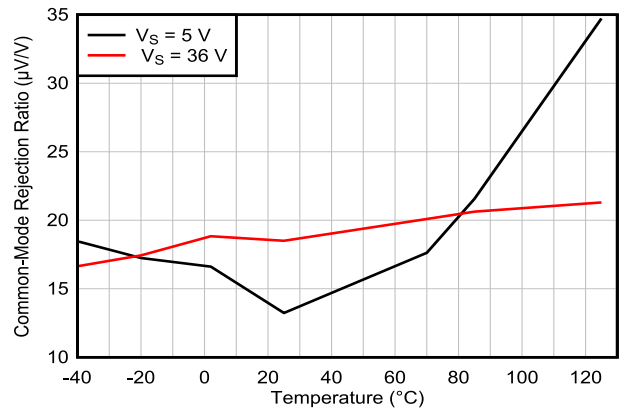


図 5-10. 同相除去比と温度との関係 (dB)

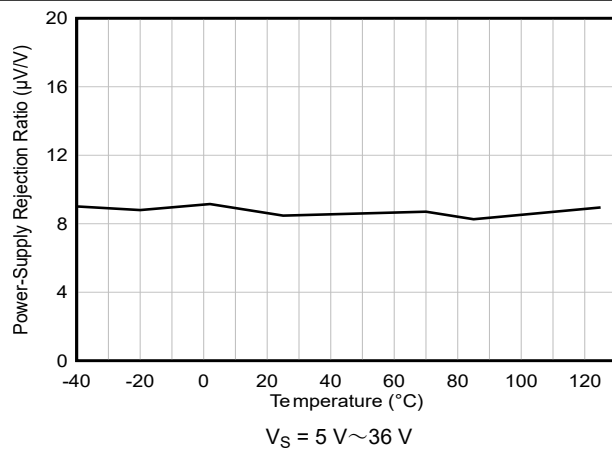


図 5-11. 電源除去比と温度との関係 (dB)

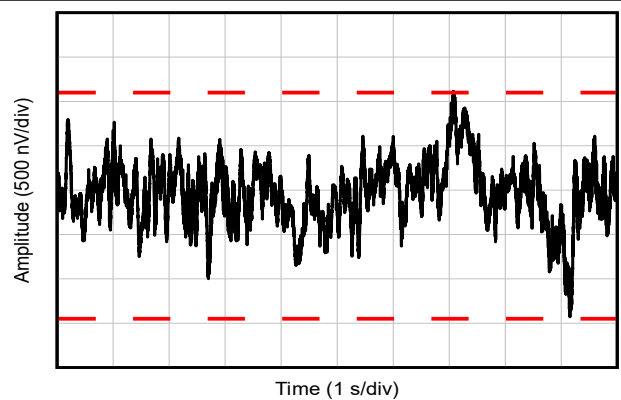


図 5-12. 0.1Hz~10Hz のノイズ

5.8 代表的特性 (続き)

この「代表的な特性」セクションは、LM2902B-Q1 と LM2902BA-Q1 に適用されます。このセクションの代表的特性データは、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 、 $V_S = 36\text{V} (\pm 18\text{V})$ 、 $V_{CM} = V_S/2$ 、 $R_{LOAD} = 10\text{k}\Omega$ を $V_S/2$ に接続した状態で測定されました (特に記述のない限り)。

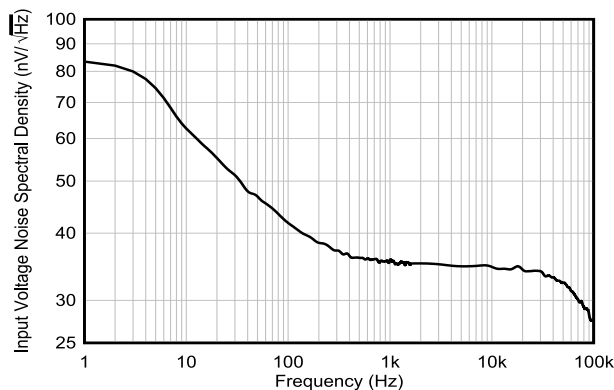
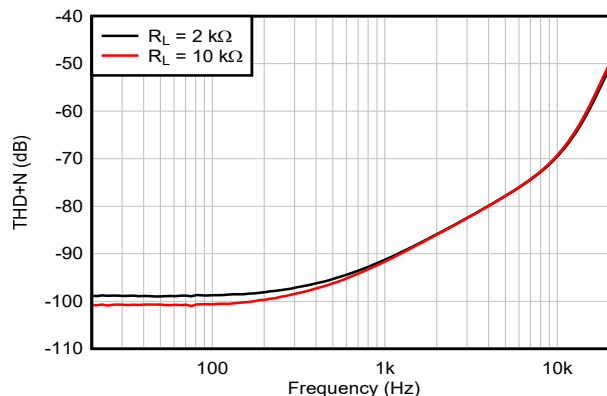
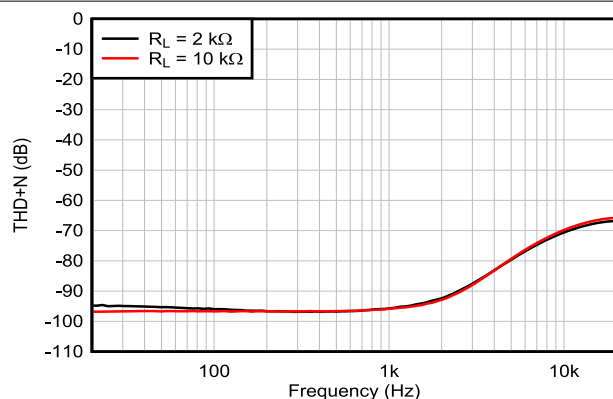


図 5-13. 入力電圧ノイズ スペクトル密度と周波数との関係



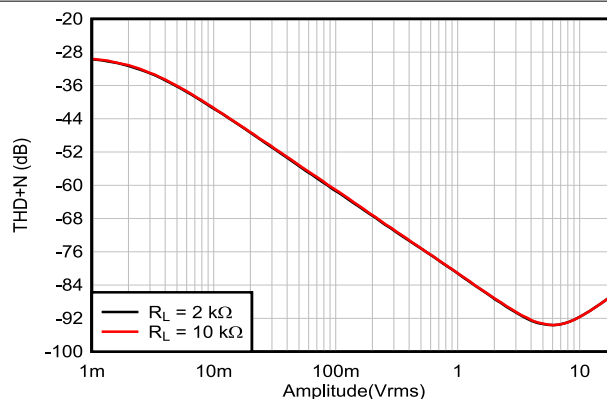
$G = 1$, $f = 1\text{kHz}$, $BW = 80\text{kHz}$,
 $V_{OUT} = 10\text{V}_{PP}$, R_L を V_- に接続

図 5-14. THD+N 比と周波数との関係、 $G = 1$



$G = -1$, $f = 1\text{kHz}$, $BW = 80\text{kHz}$,
 $V_{OUT} = 10\text{V}_{PP}$, R_L を V_- に接続
 セクション 6 を参照

図 5-15. THD+N 比と周波数との関係、 $G = -1$

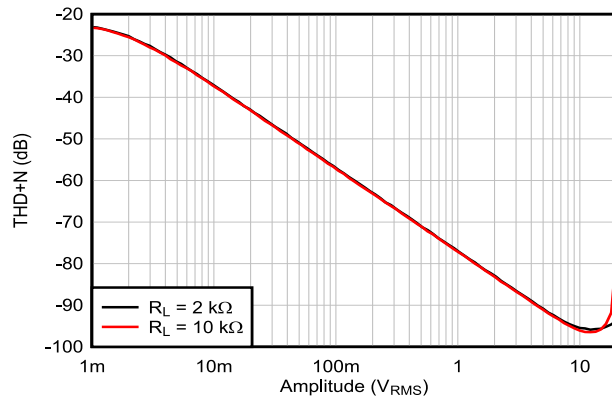


$G = 1$, $f = 1\text{kHz}$, $BW = 80\text{kHz}$,
 R_L を V_- に接続

図 5-16. THD+N と出力振幅との関係、 $G = 1$

5.8 代表的特性 (続き)

この「代表的な特性」セクションは、LM2902B-Q1 と LM2902BA-Q1 に適用されます。このセクションの代表的特性データは、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 、 $V_S = 36\text{V}$ ($\pm 18\text{V}$)、 $V_{CM} = V_S/2$ 、 $R_{LOAD} = 10\text{k}\Omega$ を $V_S/2$ に接続した状態で測定されました (特に記述のない限り)。



$G = -1$, $f = 1\text{kHz}$, $BW = 80\text{kHz}$ 、

R_L を V_- に接続

セクション 6 を参照

図 5-17. THD+N と出力振幅との関係、 $G = -1$

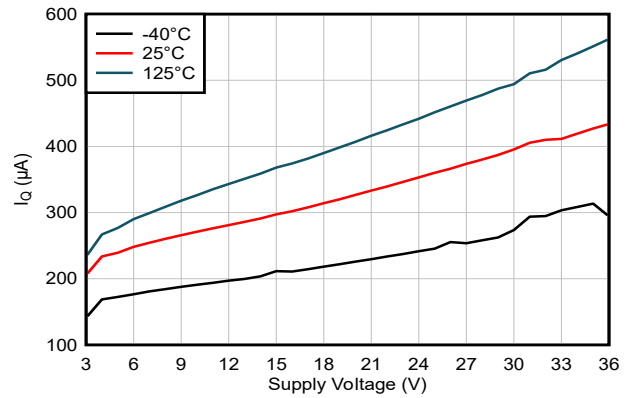


図 5-18. 静止電流と電源電圧との関係

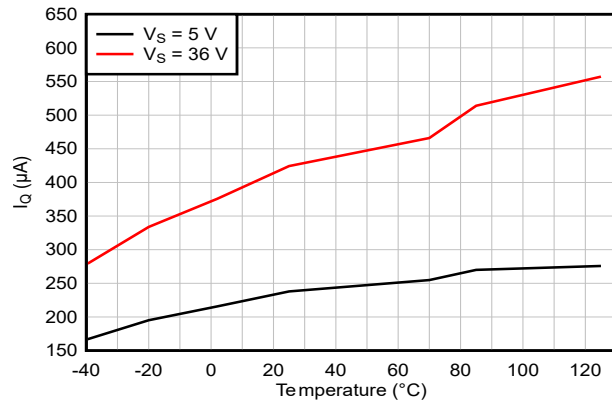


図 5-19. 静止電流と温度との関係

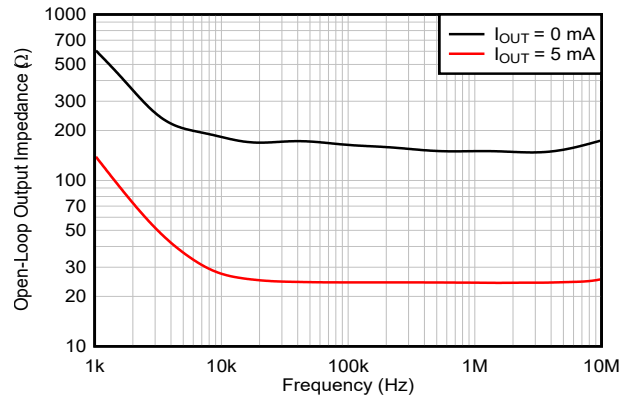
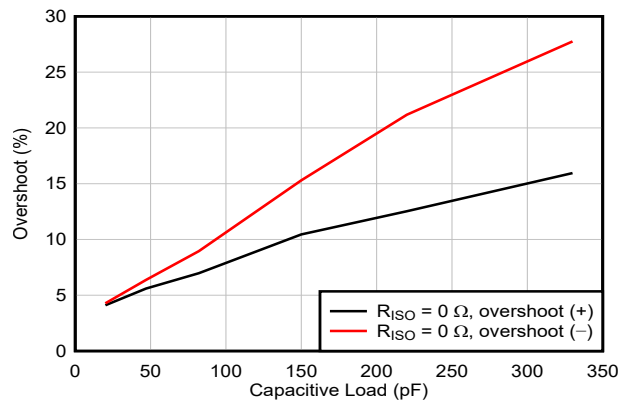
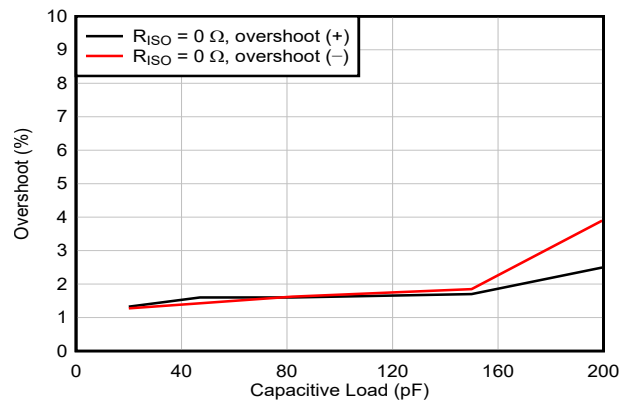


図 5-20. 開ループ出力インピーダンスと周波数との関係



$G = 1$, 100mV 出力ステップ、 $R_L = \text{オープン}$

図 5-21. 小信号オーバーシュートと容量性負荷との関係



$G = -1$, 100mV 出力ステップ、 $R_L = \text{オープン}$

図 5-22. 小信号オーバーシュートと容量性負荷との関係

5.8 代表的特性 (続き)

この「代表的な特性」セクションは、LM2902B-Q1 と LM2902BA-Q1 に適用されます。このセクションの代表的特性データは、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 、 $V_S = 36\text{V} (\pm 18\text{V})$ 、 $V_{CM} = V_S/2$ 、 $R_{LOAD} = 10\text{k}\Omega$ を $V_S/2$ に接続した状態で測定されました (特に記述のない限り)。

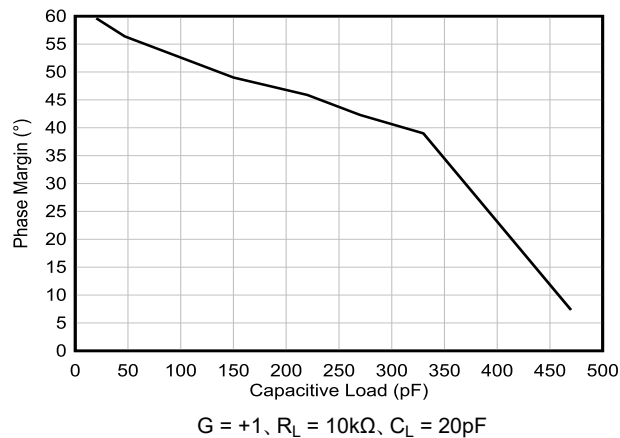


図 5-23. 位相マージンと容量性負荷との関係

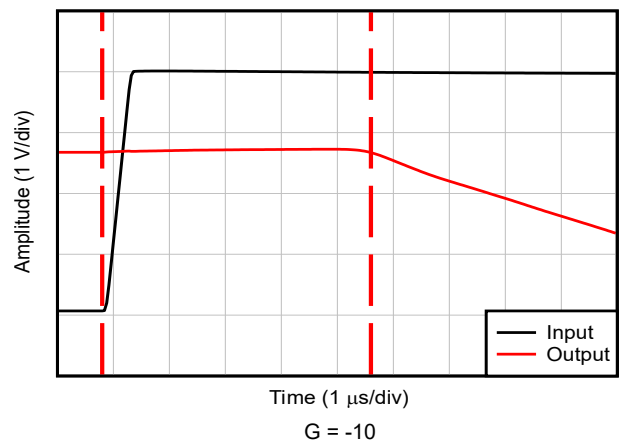


図 5-24. 過負荷回復 (正の電圧レール)

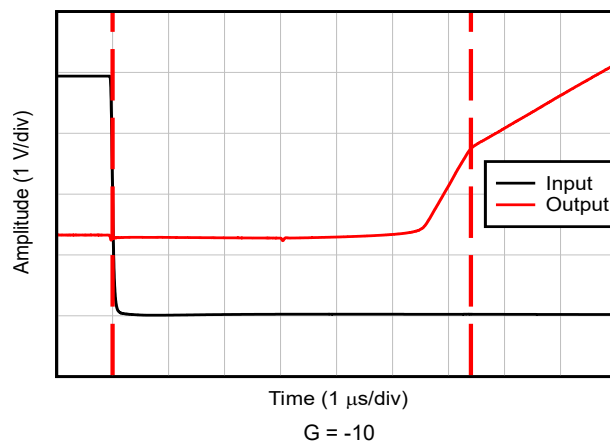


図 5-25. 過負荷回復 (負の電圧レール)

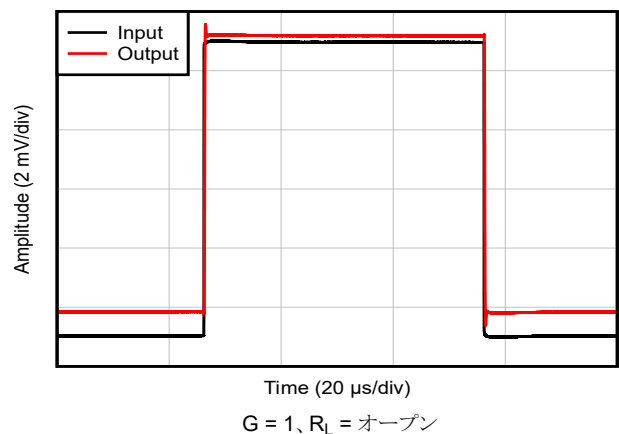


図 5-26. 小信号ステップ応答、 $G = 1$

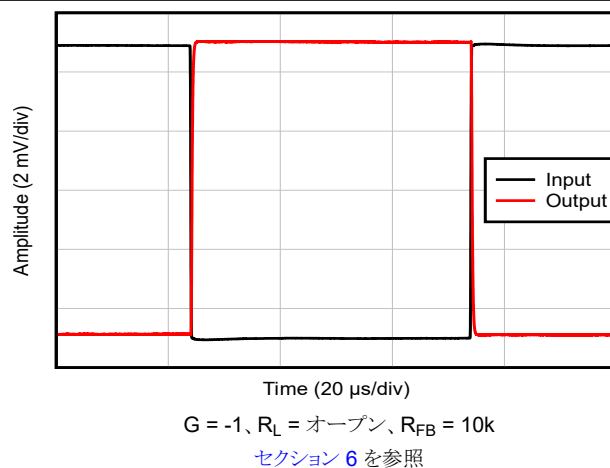


図 5-27. 小信号ステップ応答、 $G = -1$

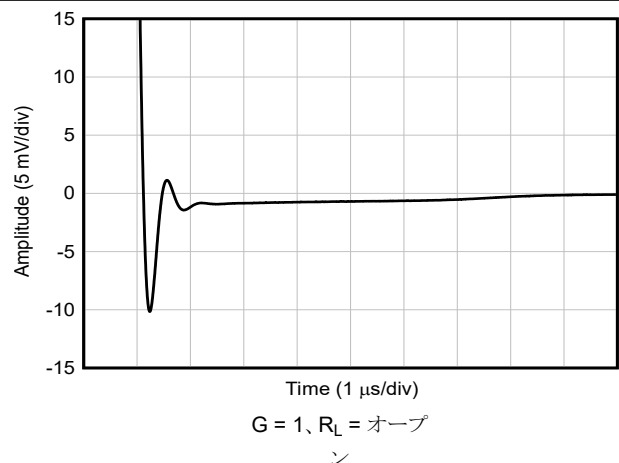
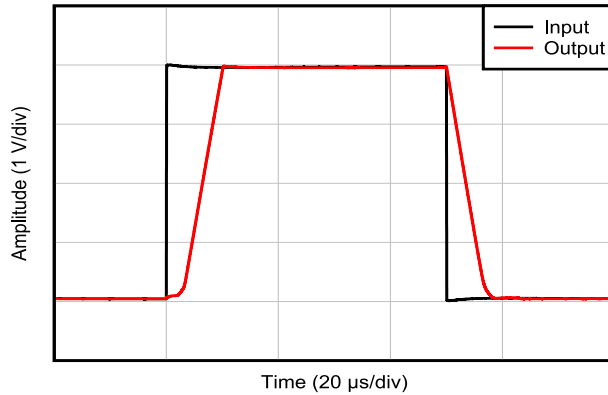


図 5-28. 大信号ステップ応答 (立ち下がり)

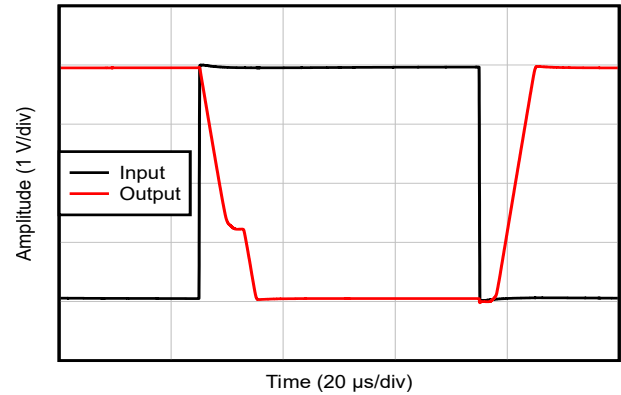
5.8 代表的特性 (続き)

この「代表的な特性」セクションは、LM2902B-Q1 と LM2902BA-Q1 に適用されます。このセクションの代表的特性データは、 $T_A = 25^\circ\text{C}$ 、 $V_S = 36\text{V} (\pm 18\text{V})$ 、 $V_{CM} = V_S/2$ 、 $R_{LOAD} = 10\text{k}\Omega$ を $V_S/2$ に接続した状態で測定されました (特に記述のない限り)。



Time (20 $\mu\text{s}/\text{div}$)
 $G = 1$, $R_L = \text{オープン}$

図 5-29. 大信号ステップ応答、 $G = 1$



Time (20 $\mu\text{s}/\text{div}$)
 $G = -1$, $R_L = \text{オープン}$

図 5-30. 大信号ステップ応答、 $G = -1$

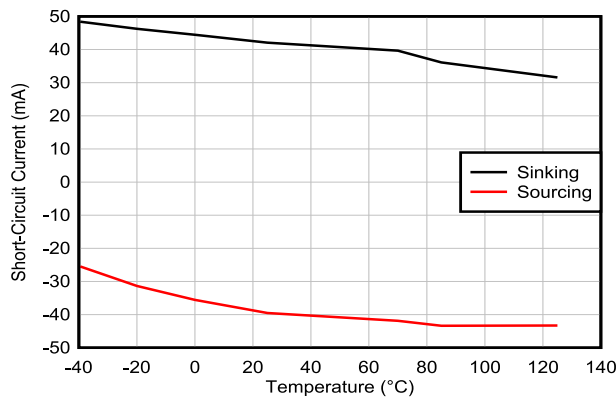


図 5-31. 短絡電流と温度との関係

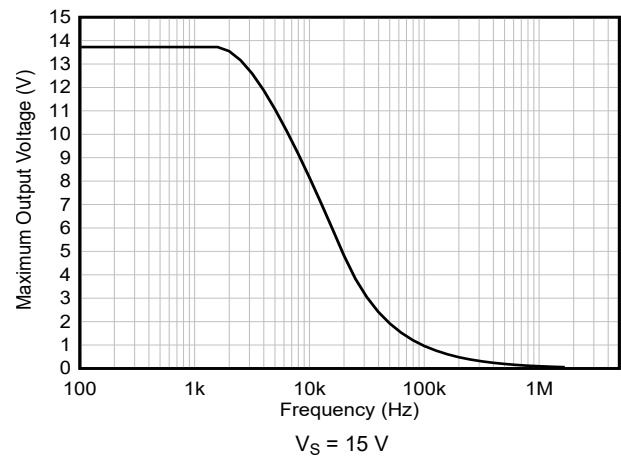


図 5-32. 最大出力電圧と周波数との関係

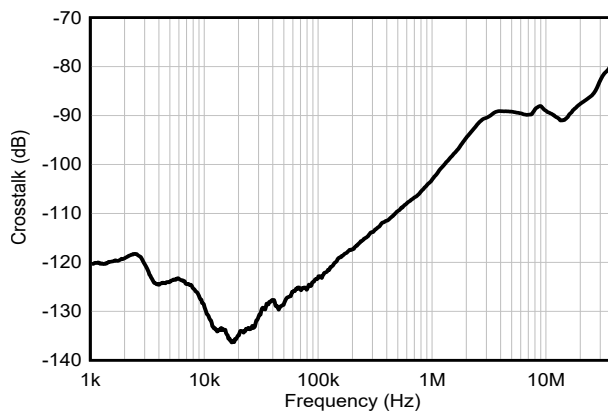


図 5-33. チャンネル セパレーションと周波数との関係

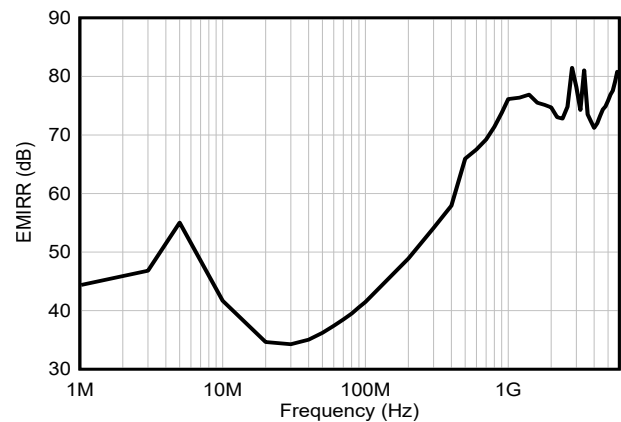


図 5-34. EMIRR (電磁干渉除去比) と周波数との関係

6 パラメータ測定情報

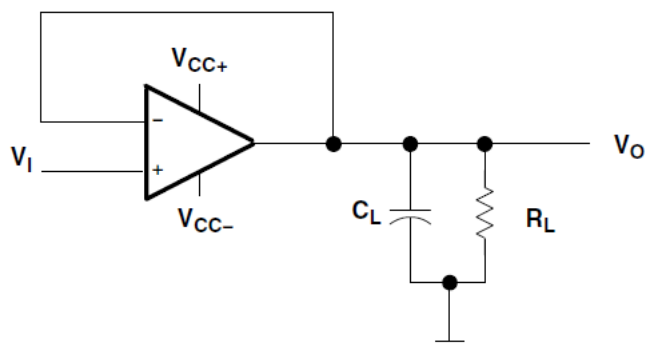


図 6-1. ユニティ・ゲイン・アンプ

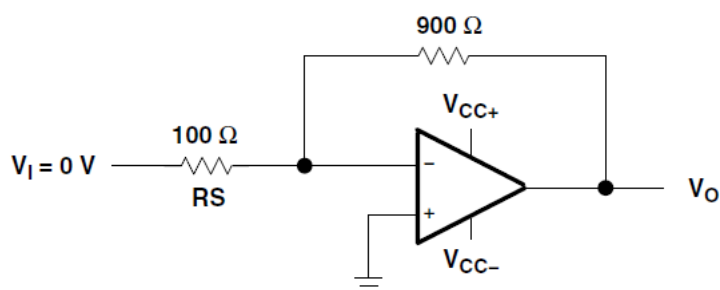


図 6-2. ノイズ・テスト回路

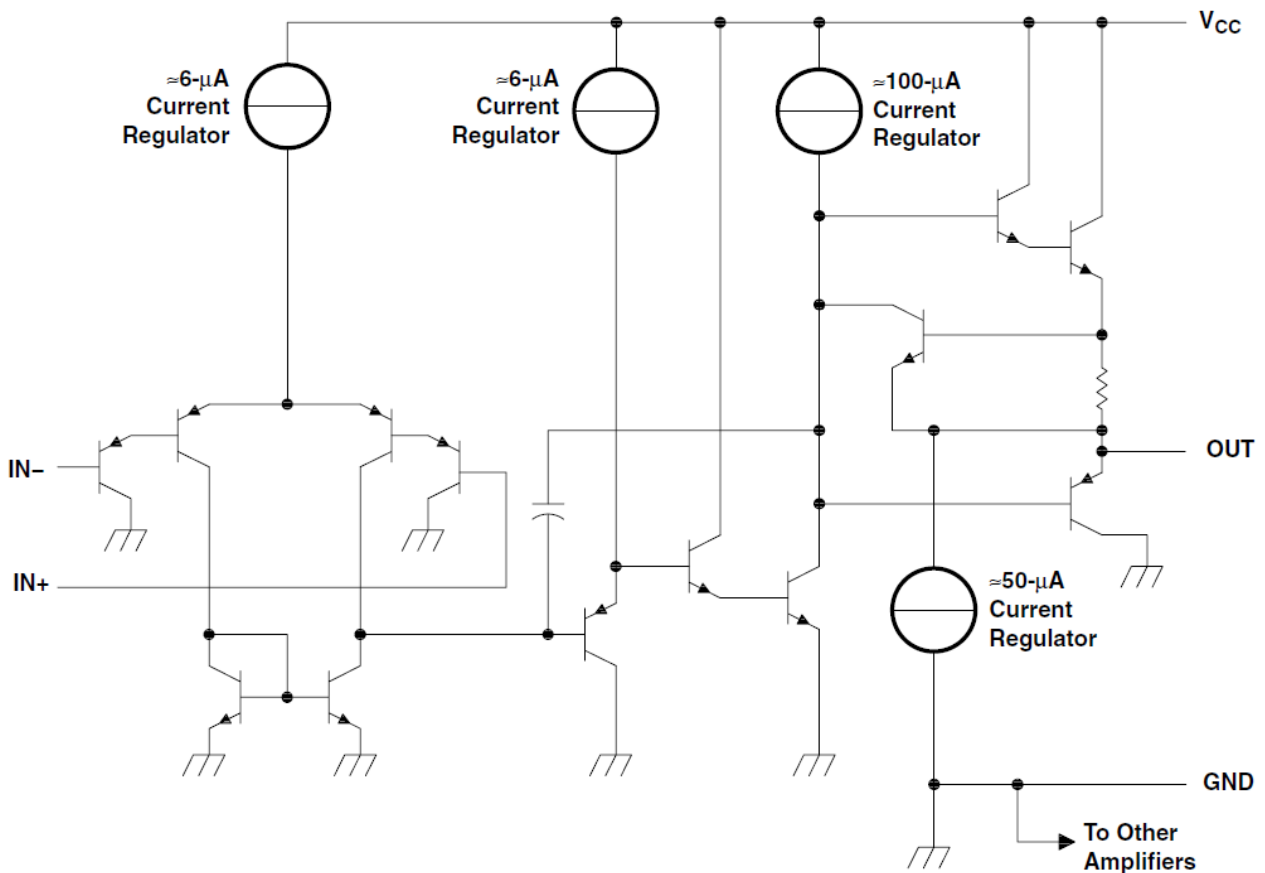
7 詳細説明

7.1 概要

LM2902-Q1、LM2902B-Q1、LM2902BA-Q1 デバイスは、広い電圧範囲にわたって単一電源で動作するように設計された、4 つの独立した高ゲイン周波数補償オペアンプで構成されています。分割電源での動作も可能です。この場合、2 つの電源の差が電源電圧範囲内で、 V_S が入力同相電圧よりも 1.5V 以上高いことが条件です。低電源電流ドレインは、電源電圧の振幅とは独立しています。

アプリケーションとしては、トランスデューサ アンプ、DC アンプ ブロック、およびすべての従来型オペアンプ回路などがあり、単電源電圧システムにより簡単に導入できるようになりました。たとえば、これらのデバイスは、デジタル システムで使用されている標準的な 5V 電源で直接動作するので、追加の $\pm 5V$ 電源を用意しなくても、必要なインターフェイス電子回路が簡単に得られます。

7.2 機能ブロック図



回路図 (アンプ 1 個分)

7.3 機能説明

7.3.1 入力同相範囲

有効な同相範囲は、デバイス グランドから $V_S - 1.5V$ (温度範囲全体では $V_S - 2V$) までです。最大 V_S までは、入力が V_S を上回っても、本デバイスは損傷しません。出力が正しい位相を示すには、少なくとも 1 つの入力が有効な入力同相範囲内にとどまっている必要があります。両方の入力が有効な範囲を超えた場合、出力位相は不定になります。どちらかの入力が V_- を 0.3V 以上下回った場合、入力電流は 1mA に制限され、出力位相は不定になります。

7.4 デバイスの機能モード

電源が接続されると、LM2902-Q1、LM2902B-Q1、および LM2902BA-Q1 デバイスの電源がオンになります。このデバイスは、アプリケーションに応じて、単一電源オペアンプまたはデュアル電源アンプとして動作できます。

8 アプリケーションと実装

注

以下のアプリケーション情報は、TI の製品仕様に含まれるものではなく、TI ではその正確性または完全性を保証いたしません。個々の目的に対する製品の適合性については、お客様の責任で判断していただくことになります。お客様は自身の設計実装を検証しテストすることで、システムの機能を確認する必要があります。

8.1 アプリケーション情報

LM2902-Q1、LM2902B-Q1、LM2902BA-Q1 オペアンプは、広範なシグナル・コンディショニング・アプリケーションに役立ちます。V_S よりも前に入力に電力を供給できるため、複数の電源回路で柔軟に動作できます。このデバイス・ファミリに関連するアプリケーション設計ガイドラインの詳細については、アプリケーション・レポート『[LM324/LM358 デバイスのアプリケーション設計ガイドライン](#)』を参照してください。

8.2 代表的なアプリケーション

オペアンプの代表的なアプリケーションは、反転アンプです。このアンプは入力で正の電圧を取り込み、同じ振幅の負の電圧に変換します。同様に、このデバイスは負の電圧も正の電圧に変換します。

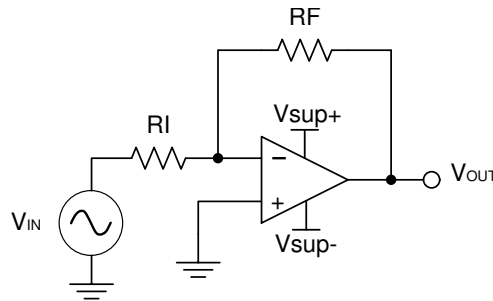


図 8-1. アプリケーション回路図

8.2.1 設計要件

電源電圧は、入力電圧範囲および出力範囲よりも大きくなるように選択する必要があります。たとえば、このアプリケーションは、 $\pm 0.5V$ の信号を $\pm 1.8V$ に増幅します。このアプリケーションに対応するには、電源を $\pm 12V$ に設定すれば十分です。

8.2.2 詳細な設計手順

式 1 と式 2 を使って、反転アンプに必要なゲインを決定します。

$$A_V = \frac{V_{OUT}}{V_{IN}} \quad (1)$$

$$A_V = \frac{1.8}{-0.5} = -3.6 \quad (2)$$

目的のゲインを決定したら、R_I または R_F の値を選択します。アンプ回路は mA 範囲の電流を使用するため、k Ω 範囲の値を選択することが求められます。それにより、部品に過度の電流が流れなくなります。この例では R_I に 10k Ω 、R_F に 36k Ω を使っています。これは 式 3 によって計算されます。

$$A_V = -\frac{R_F}{R_I} \quad (3)$$

8.2.3 アプリケーション曲線

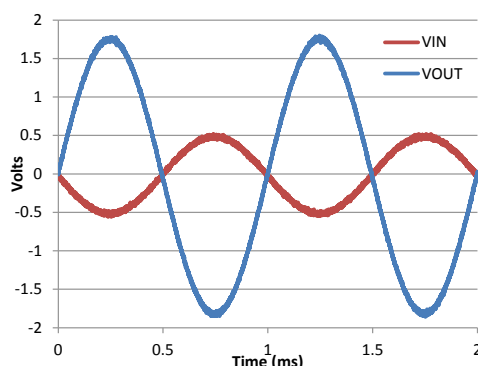


図 8-2. 反転アンプの入力電圧と出力電圧

8.3 電源に関する推奨事項

注意

推奨動作条件で規定された電圧を超える電源電圧は、デバイスに永続的な損傷を与える可能性があります (セクション 5.1 を参照)。

電源ピンの近くに 0.1 μ F のバイパス コンデンサを配置すると、ノイズの多い電源や高インピーダンスの電源からの誤差を低減できます。バイパス コンデンサの配置の詳細については、セクション 8.4 を参照してください。

8.4 レイアウト

8.4.1 レイアウトのガイドライン

デバイスで最高の動作性能を実現するには、以下のような適切な PCB レイアウト手法を使用してください。

- ノイズは、回路全体やオペアンプの電源ピンを経由して、アナログ回路に伝播することがあります。バイパス コンデンサは、アナログ回路に対してローカルに低インピーダンスの電源を供給し、結合ノイズを低減するために使用されます。
 - 各電源ピンとグランドとの間に、低 ESR の 0.1 μ F セラミック バイパス コンデンサを接続し、可能な限りデバイスの近くに配置します。単一電源アプリケーションの場合は、V+ からグランドに対して 1 つのバイパス コンデンサを接続します。
- 回路のアナログ部とデジタル部を別々に接地することは、ノイズを抑制する最も簡単かつ効果的な方法の 1 つです。通常、多層 PCB のうち 1 つ以上の層はグランド プレーン専用です。グランド プレーンは熱を分散させ、EMI ノイズを拾いにくくする役割を果たします。グランド電流の流れに注意しながら、デジタル グランドとアナログ グランドを物理的に分離してください。
- 寄生カップリングを低減するため、入力トレースを電源トレースと出力トレースからできるだけ離して配置します。これらの配線を離して配置できない場合、影響を受けやすい配線をノイズの多い配線と平行にするのではなく、直角に交差させる方が良い結果が得られます。
- 外付け部品は、可能な限りデバイスに近く配置します。図 8-3 に示すように、 R_F と R_G を反転入力に近づけて配置すると、寄生容量が最小化されます。
- 入力トレースは、できる限り短くします。入力トレースは、回路の中でも最も影響を受けやすい部分であることに常に注意してください。
- 重要なトレースの周囲に、駆動される低インピーダンスのガードリングを配置することを検討してください。ガードリングを使用すると、付近に存在する、さまざまな電位のトレースからのリーク電流を大幅に低減できます。

8.4.2 レイアウト例

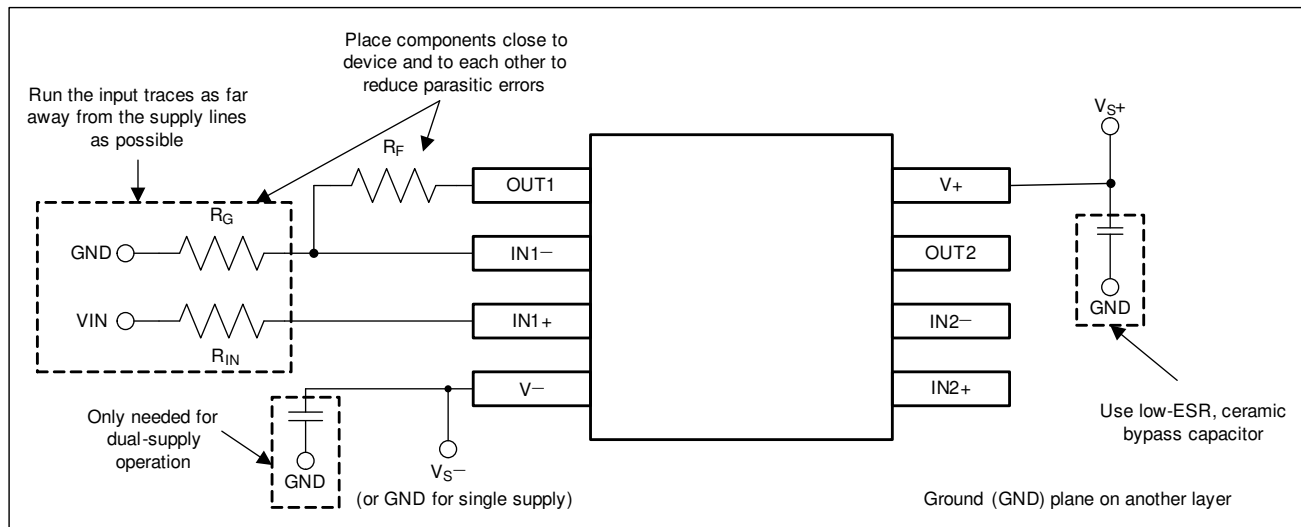


図 8-3. 非反転構成のオペアンプ基板のレイアウト

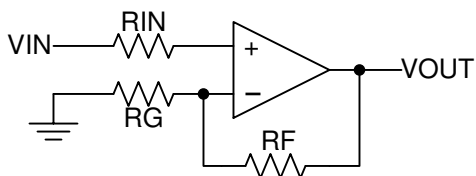


図 8-4. 非反転構成のオペアンプの回路図

9 デバイスおよびドキュメントのサポート

9.1 ドキュメントのサポート

9.1.1 関連資料

関連資料については、以下を参照してください。

- テキサス・インスツルメンツ、『[Application Design Guidelines for LM324/LM358 Devices](#)』アプリケーション・ノート』
(英語)

9.2 ドキュメントの更新通知を受け取る方法

ドキュメントの更新についての通知を受け取るには、www.tij.co.jp のデバイス製品フォルダを開いてください。[通知] をクリックして登録すると、変更されたすべての製品情報に関するダイジェストを毎週受け取ることができます。変更の詳細については、改訂されたドキュメントに含まれている改訂履歴をご覧ください。

9.3 サポート・リソース

テキサス・インスツルメンツ E2E™ サポート・フォーラムは、エンジニアが検証済みの回答と設計に関するヒントをエキスパートから迅速かつ直接得ることができる場所です。既存の回答を検索したり、独自の質問をしたりすることで、設計に必要な支援を迅速に得ることができます。

リンクされているコンテンツは、各寄稿者により「現状のまま」提供されるものです。これらはテキサス・インスツルメンツの仕様を構成するものではなく、必ずしもテキサス・インスツルメンツの見解を反映したものではありません。テキサス・インスツルメンツの[使用条件](#)を参照してください。

9.4 商標

テキサス・インスツルメンツ E2E™ is a trademark of Texas Instruments.

すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

9.5 静電気放電に関する注意事項



この IC は、ESD によって破損する可能性があります。テキサス・インスツルメンツは、IC を取り扱う際には常に適切な注意を払うことを推奨します。正しい取り扱いおよび設置手順に従わない場合、デバイスを破損するおそれがあります。

ESD による破損は、わずかな性能低下からデバイスの完全な故障まで多岐にわたります。精密な IC の場合、パラメータがわずかに変化するだけで公表されている仕様から外れる可能性があるため、破損が発生しやすくなっています。

9.6 用語集

[テキサス・インスツルメンツ用語集](#) この用語集には、用語や略語の一覧および定義が記載されています。

10 改訂履歴

資料番号末尾の英字は改訂を表しています。その改訂履歴は英語版に準じています。

Changes from Revision H (October 2023) to Revision I (November 2024)	Page
• LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 SOIC-14 パッケージのステータスをプレビューからアクティブに変更	1

Changes from Revision G (February 2023) to Revision H (October 2023)	Page
• パッケージ情報の表のフォーマットを更新し、パッケージ リード サイズとチャネル数を追加	1
• LM2902BA-Q1 TSSOP-14 パッケージのステータスをプレビューからアクティブに変更	1

Changes from Revision F (May 2022) to Revision G (February 2023)

Page

• 製品情報の表の LM2902B-Q1 TSSOP-14 パッケージからプレビュー メモを削除	1
• 「熱に関する情報」セクションの LM2902B-Q1 の値を変更	5
• 「代表的な特性」曲線に LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	10

Changes from Revision E (April 2008) to Revision F (May 2022)

Page

• データシートの名称を変更	1
• 「特長」セクションを、LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を含めるように変更	1
• 「アプリケーション」セクションを追加	1
• 製品情報の表に LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	1
• 「概要」セクションに LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	1
• 「ピン構成および機能」セクションを更新し、「ピン機能」表を追加	3
• 「絶対最大定格」表に LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	4
• 「ESD 定格」表に LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	4
• 「推奨動作条件」セクションに LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	4
• 「熱に関する情報」セクションに LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	5
• データシートに「概要」セクションを追加	17
• 「機能説明」セクションを追加	17
• 「機能説明」セクションに「入力同相範囲」セクションを追加	17
• LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 のデバイスの機能モードの情報を追加	18
• 「アプリケーションと実装」セクションに LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	19
• 「アプリケーション情報」セクションに LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	19
• 「代表的なアプリケーション」セクションに LM2902B-Q1 および LM2902BA-Q1 を追加	19
• データシートに「電源に関する推奨事項」セクションを追加	20
• データシートに「レイアウト」セクションを追加	20
• データシートに「デバイスおよびドキュメントのサポート」セクションを追加	22
• 「メカニカル、パッケージ、および注文情報」セクションをデータシートに追加	23

11 メカニカル、パッケージ、および注文情報

以降のページには、メカニカル、パッケージ、および注文に関する情報が記載されています。この情報は、指定のデバイスに使用できる最新のデータです。このデータは、予告なく、このドキュメントを改訂せずに変更される場合があります。本データシートのブラウザ版を使用している場合は、画面左側のナビゲーションをご覧ください。

重要なお知らせと免責事項

テキサス・インスツルメンツは、技術データと信頼性データ (データシートを含みます)、設計リソース (リファレンス デザインを含みます)、アプリケーションや設計に関する各種アドバイス、Web ツール、安全性情報、その他のリソースを、欠陥が存在する可能性のある「現状のまま」提供しており、商品性および特定目的に対する適合性の黙示保証、第三者の知的財産権の非侵害保証を含むいかなる保証も、明示的または黙示的にかかわらず拒否します。

これらのリソースは、テキサス・インスツルメンツ製品を使用する設計の経験を積んだ開発者への提供を意図したものです。(1) お客様のアプリケーションに適した テキサス・インスツルメンツ製品の選定、(2) お客様のアプリケーションの設計、検証、試験、(3) お客様のアプリケーションに該当する各種規格や、その他のあらゆる安全性、セキュリティ、規制、または他の要件への確実な適合に関する責任を、お客様のみが単独で負うものとします。

上記の各種リソースは、予告なく変更される可能性があります。これらのリソースは、リソースで説明されている テキサス・インスツルメンツ製品を使用するアプリケーションの開発の目的でのみ、テキサス・インスツルメンツはその使用をお客様に許諾します。これらのリソースに関して、他の目的で複製することや掲載することは禁止されています。テキサス・インスツルメンツや第三者の知的財産権のライセンスが付与されている訳ではありません。お客様は、これらのリソースを自身で使用した結果発生するあらゆる申し立て、損害、費用、損失、責任について、テキサス・インスツルメンツおよびその代理人を完全に補償するものとし、テキサス・インスツルメンツは一切の責任を拒否します。

テキサス・インスツルメンツの製品は、[テキサス・インスツルメンツの販売条件](#)、または [ti.com](https://www.ti.com) やかかる テキサス・インスツルメンツ製品の関連資料などのいずれかを通じて提供する適用可能な条項の下で提供されています。テキサス・インスツルメンツがこれらのリソースを提供することは、適用されるテキサス・インスツルメンツの保証または他の保証の放棄の拡大や変更を意味するものではありません。

お客様がいかなる追加条項または代替条項を提案した場合でも、テキサス・インスツルメンツはそれらに異議を唱え、拒否します。

郵送先住所: Texas Instruments, Post Office Box 655303, Dallas, Texas 75265
Copyright © 2024, Texas Instruments Incorporated

PACKAGING INFORMATION

Orderable part number	Status (1)	Material type (2)	Package Pins	Package qty Carrier	RoHS (3)	Lead finish/ Ball material (4)	MSL rating/ Peak reflow (5)	Op temp (°C)	Part marking (6)
LM2902BAQDRQ1	Active	Production	SOIC (D) 14	3000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	M2902ABQD
LM2902BAQDRQ1.A	Active	Production	SOIC (D) 14	3000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	M2902ABQD
LM2902BAQPWRQ1	Active	Production	TSSOP (PW) 14	3000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902BAQ
LM2902BAQPWRQ1.A	Active	Production	TSSOP (PW) 14	3000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902BAQ
LM2902BQDRQ1	Active	Production	SOIC (D) 14	3000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	LM2902BQD
LM2902BQDRQ1.A	Active	Production	SOIC (D) 14	3000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	LM2902BQD
LM2902BQPWRQ1	Active	Production	TSSOP (PW) 14	3000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	L2902BQ
LM2902BQPWRQ1.A	Active	Production	TSSOP (PW) 14	3000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	L2902BQ
LM2902KAVQDRQ1	Active	Production	SOIC (D) 14	2500 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902KAQ
LM2902KAVQDRQ1.A	Active	Production	SOIC (D) 14	2500 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902KAQ
LM2902KAVQPWRG4Q1	Obsolete	Production	TSSOP (PW) 14	-	-	Call TI	Call TI	-40 to 125	2902KAQ
LM2902KAVQPWRQ1	Active	Production	TSSOP (PW) 14	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902KAQ
LM2902KAVQPWRQ1.A	Active	Production	TSSOP (PW) 14	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902KAQ
LM2902KVQDRQ1	Active	Production	SOIC (D) 14	2500 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902KVQ
LM2902KVQDRQ1.A	Active	Production	SOIC (D) 14	2500 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902KVQ
LM2902KVQPWRG4Q1	Obsolete	Production	TSSOP (PW) 14	-	-	Call TI	Call TI	-40 to 125	2902KVQ
LM2902KVQPWRQ1	Active	Production	TSSOP (PW) 14	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902KVQ
LM2902KVQPWRQ1.A	Active	Production	TSSOP (PW) 14	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902KVQ
LM2902QDRG4Q1	Obsolete	Production	SOIC (D) 14	-	-	Call TI	Call TI	-40 to 125	2902Q1
LM2902QDRQ1	Active	Production	SOIC (D) 14	2500 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902Q1
LM2902QDRQ1.A	Active	Production	SOIC (D) 14	2500 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902Q1
LM2902QPWRG4Q1	Obsolete	Production	TSSOP (PW) 14	-	-	Call TI	Call TI	-40 to 125	2902Q1
LM2902QPWRQ1	Active	Production	TSSOP (PW) 14	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902Q1
LM2902QPWRQ1.A	Active	Production	TSSOP (PW) 14	2000 LARGE T&R	Yes	NIPDAU	Level-1-260C-UNLIM	-40 to 125	2902Q1

⁽¹⁾ **Status:** For more details on status, see our [product life cycle](#).

⁽²⁾ **Material type:** When designated, preproduction parts are prototypes/experimental devices, and are not yet approved or released for full production. Testing and final process, including without limitation quality assurance, reliability performance testing, and/or process qualification, may not yet be complete, and this item is subject to further changes or possible discontinuation. If available for ordering, purchases will be subject to an additional waiver at checkout, and are intended for early internal evaluation purposes only. These items are sold without warranties of any kind.

⁽³⁾ **RoHS values:** Yes, No, RoHS Exempt. See the [TI RoHS Statement](#) for additional information and value definition.

⁽⁴⁾ **Lead finish/Ball material:** Parts may have multiple material finish options. Finish options are separated by a vertical ruled line. Lead finish/Ball material values may wrap to two lines if the finish value exceeds the maximum column width.

⁽⁵⁾ **MSL rating/Peak reflow:** The moisture sensitivity level ratings and peak solder (reflow) temperatures. In the event that a part has multiple moisture sensitivity ratings, only the lowest level per JEDEC standards is shown. Refer to the shipping label for the actual reflow temperature that will be used to mount the part to the printed circuit board.

⁽⁶⁾ **Part marking:** There may be an additional marking, which relates to the logo, the lot trace code information, or the environmental category of the part.

Multiple part markings will be inside parentheses. Only one part marking contained in parentheses and separated by a "~" will appear on a part. If a line is indented then it is a continuation of the previous line and the two combined represent the entire part marking for that device.

Important Information and Disclaimer: The information provided on this page represents TI's knowledge and belief as of the date that it is provided. TI bases its knowledge and belief on information provided by third parties, and makes no representation or warranty as to the accuracy of such information. Efforts are underway to better integrate information from third parties. TI has taken and continues to take reasonable steps to provide representative and accurate information but may not have conducted destructive testing or chemical analysis on incoming materials and chemicals. TI and TI suppliers consider certain information to be proprietary, and thus CAS numbers and other limited information may not be available for release.

In no event shall TI's liability arising out of such information exceed the total purchase price of the TI part(s) at issue in this document sold by TI to Customer on an annual basis.

OTHER QUALIFIED VERSIONS OF LM2902-Q1, LM2902B-Q1, LM2902BA-Q1 :

- Catalog : [LM2902](#), [LM2902B](#), [LM2902BA](#)
- Enhanced Product : [LM2902-EP](#)

NOTE: Qualified Version Definitions:

- Catalog - TI's standard catalog product
- Enhanced Product - Supports Defense, Aerospace and Medical Applications

TAPE AND REEL INFORMATION



*All dimensions are nominal

Device	Package Type	Package Drawing	Pins	SPQ	Reel Diameter (mm)	Reel Width W1 (mm)	A0 (mm)	B0 (mm)	K0 (mm)	P1 (mm)	W (mm)	Pin1 Quadrant
LM2902BAQDRQ1	SOIC	D	14	3000	330.0	16.4	6.5	9.0	2.1	8.0	16.0	Q1
LM2902BAQPWRQ1	TSSOP	PW	14	3000	330.0	12.4	6.9	5.6	1.6	8.0	12.0	Q1
LM2902BAQPWRQ1	TSSOP	PW	14	3000	330.0	12.4	6.9	5.6	1.6	8.0	12.0	Q1
LM2902BQDRQ1	SOIC	D	14	3000	330.0	16.4	6.5	9.0	2.1	8.0	16.0	Q1
LM2902BQPWRQ1	TSSOP	PW	14	3000	330.0	12.4	6.9	5.6	1.6	8.0	12.0	Q1
LM2902KAVQPWRQ1	TSSOP	PW	14	2000	330.0	12.4	6.9	5.6	1.6	8.0	12.0	Q1
LM2902KVQPWRQ1	TSSOP	PW	14	2000	330.0	12.4	6.9	5.6	1.6	8.0	12.0	Q1
LM2902QPWRQ1	TSSOP	PW	14	2000	330.0	12.4	6.9	5.6	1.6	8.0	12.0	Q1
LM2902QPWRQ1	TSSOP	PW	14	2000	330.0	12.4	6.9	5.6	1.6	8.0	12.0	Q1

TAPE AND REEL BOX DIMENSIONS

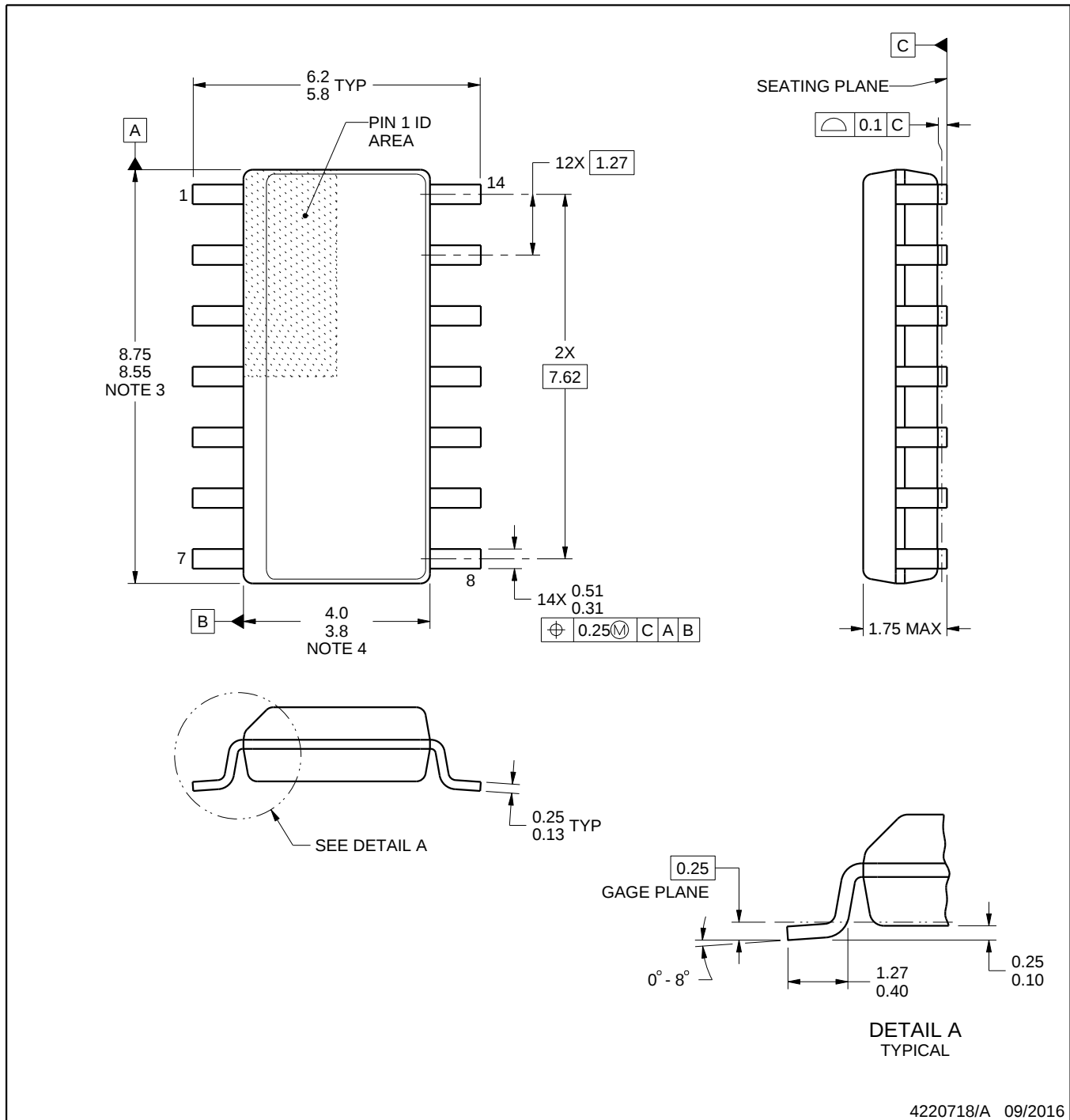


*All dimensions are nominal

Device	Package Type	Package Drawing	Pins	SPQ	Length (mm)	Width (mm)	Height (mm)
LM2902BAQDRQ1	SOIC	D	14	3000	353.0	353.0	32.0
LM2902BAQPWRQ1	TSSOP	PW	14	3000	353.0	353.0	32.0
LM2902BAQPWRQ1	TSSOP	PW	14	3000	356.0	356.0	35.0
LM2902BQDRQ1	SOIC	D	14	3000	353.0	353.0	32.0
LM2902BQPWRQ1	TSSOP	PW	14	3000	356.0	356.0	35.0
LM2902KAVQPWRQ1	TSSOP	PW	14	2000	367.0	367.0	35.0
LM2902KVQPWRQ1	TSSOP	PW	14	2000	356.0	356.0	35.0
LM2902QPWRQ1	TSSOP	PW	14	2000	353.0	353.0	32.0
LM2902QPWRQ1	TSSOP	PW	14	2000	356.0	356.0	35.0

D0014A**PACKAGE OUTLINE****SOIC - 1.75 mm max height**

SMALL OUTLINE INTEGRATED CIRCUIT



4220718/A 09/2016

NOTES:

1. All linear dimensions are in millimeters. Dimensions in parenthesis are for reference only. Dimensioning and tolerancing per ASME Y14.5M.
2. This drawing is subject to change without notice.
3. This dimension does not include mold flash, protrusions, or gate burrs. Mold flash, protrusions, or gate burrs shall not exceed 0.15 mm, per side.
4. This dimension does not include interlead flash. Interlead flash shall not exceed 0.43 mm, per side.
5. Reference JEDEC registration MS-012, variation AB.

EXAMPLE BOARD LAYOUT

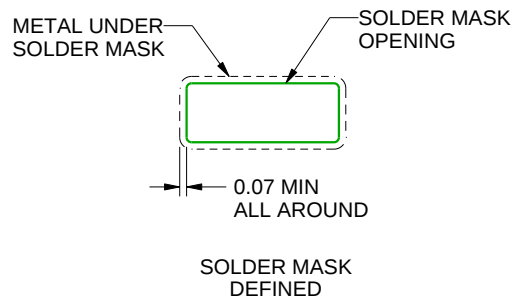
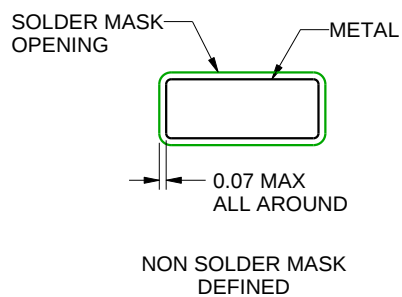
D0014A

SOIC - 1.75 mm max height

SMALL OUTLINE INTEGRATED CIRCUIT



LAND PATTERN EXAMPLE
SCALE:8X



SOLDER MASK DETAILS

4220718/A 09/2016

NOTES: (continued)

6. Publication IPC-7351 may have alternate designs.

7. Solder mask tolerances between and around signal pads can vary based on board fabrication site.

EXAMPLE STENCIL DESIGN

D0014A

SOIC - 1.75 mm max height

SMALL OUTLINE INTEGRATED CIRCUIT



SOLDER PASTE EXAMPLE
BASED ON 0.125 mm THICK STENCIL
SCALE:8X

4220718/A 09/2016

NOTES: (continued)

8. Laser cutting apertures with trapezoidal walls and rounded corners may offer better paste release. IPC-7525 may have alternate design recommendations.
9. Board assembly site may have different recommendations for stencil design.

EXAMPLE STENCIL DESIGN

PW0014A

TSSOP - 1.2 mm max height

SMALL OUTLINE PACKAGE



SOLDER PASTE EXAMPLE
BASED ON 0.125 mm THICK STENCIL
SCALE: 10X

4220202/B 12/2023

NOTES: (continued)

8. Laser cutting apertures with trapezoidal walls and rounded corners may offer better paste release. IPC-7525 may have alternate design recommendations.
9. Board assembly site may have different recommendations for stencil design.

重要なお知らせと免責事項

テキサス・インスツルメンツは、技術データと信頼性データ (データシートを含みます)、設計リソース (リファレンス デザインを含みます)、アプリケーションや設計に関する各種アドバイス、Web ツール、安全性情報、その他のリソースを、欠陥が存在する可能性のある「現状のまま」提供しており、商品性および特定目的に対する適合性の黙示保証、第三者の知的財産権の非侵害保証を含むいかなる保証も、明示的または黙示的にかかわらず拒否します。

これらのリソースは、テキサス・インスツルメンツ製品を使用する設計の経験を積んだ開発者への提供を意図したものです。(1) お客様のアプリケーションに適した テキサス・インスツルメンツ製品の選定、(2) お客様のアプリケーションの設計、検証、試験、(3) お客様のアプリケーションに該当する各種規格や、その他のあらゆる安全性、セキュリティ、規制、または他の要件への確実な適合に関する責任を、お客様のみが単独で負うものとします。

上記の各種リソースは、予告なく変更される可能性があります。これらのリソースは、リソースで説明されている テキサス・インスツルメンツ製品を使用するアプリケーションの開発の目的でのみ、テキサス・インスツルメンツはその使用をお客様に許諾します。これらのリソースに関して、他の目的で複製することや掲載することは禁止されています。テキサス・インスツルメンツや第三者の知的財産権のライセンスが付与されている訳ではありません。お客様は、これらのリソースを自身で使用した結果発生するあらゆる申し立て、損害、費用、損失、責任について、テキサス・インスツルメンツおよびその代理人を完全に補償するものとし、テキサス・インスツルメンツは一切の責任を拒否します。

テキサス・インスツルメンツの製品は、[テキサス・インスツルメンツの販売条件](#)、または [ti.com](https://www.ti.com) やかかる テキサス・インスツルメンツ製品の関連資料などのいずれかを通じて提供する適用可能な条項の下で提供されています。テキサス・インスツルメンツがこれらのリソースを提供することは、適用される テキサス・インスツルメンツの保証または他の保証の放棄の拡大や変更を意味するものではありません。

お客様がいかなる追加条項または代替条項を提案した場合でも、テキサス・インスツルメンツはそれらに異議を唱え、拒否します。

郵送先住所：Texas Instruments, Post Office Box 655303, Dallas, Texas 75265
Copyright © 2025, Texas Instruments Incorporated